

6

## 神の摂理

### 1. 神の聖定が実行された、初めの結果は創造でした。

#### その次は何でしたか。

神の聖定（御心）が実行された、その次の結果は、神の摂理です。神は、ご自身が造られた被造物を続けて維持させ、支配なさいます。それは、神の善なる目的を有効にされることです（エペソ 1:11、ロマ 11:36、詩 119:91）。また、神が続けて働いておられるという証拠です。神がすべてを知っておられ、全能な方だから起きることです。従って、神の摂理なしには何も起こらないのです。

### 2. 神の聖定と摂理との関係は、どうなのですか。

神はご自身の御心に従って行います。誰の助言も必要としません。神は、すべてのことを完全に知っておられ、その知恵に従って行われるからです。さらに神は、その行われるすべての御業において、どんな強要も受けることなくなさいます。神がなさろうとすることを自発的に行います。神がすべてのことを治めるの

は、ただ、ご自身の喜ばれる御心に従ってなさるのです。神は一般的に支配なさるだけではなく、すべてのことを特別に統治なさいます。

### 3. 神の摂理は、すべての被造物に拡大されますか。

神の摂理は、すべての人間と物、行為と状況に拡大されます。私たちが通常的で、一般的と思われるところにも拡大されます。神は、ご自身の摂理を、すべての出来事に一般的に、そして特別に実行なさいます。雀の一羽でも、天の父のお許しなしには地に落ちることはありません（マタイ 10:29）。

### 4. 人々が神の摂理を認めずに、用いる概念などは何がありますか。

人々はある事について話す時、自然に起きた事だとも言ったり、運が良かったとか、ついていたとかと言いながら喜びます。ある人は、起こるべき事が起きたとも言ったり、偶然に起きたとも言います。また、他の人たちは、運命という単語を使ったりもします。そして、人間には自由意志があるのに、どうやってすべての事を統治なさるのかと反問します。このような言葉は、みな神を認めたくない時に使用する言葉です。ところが、人間の目には自然的に見え、偶然に起きた事のように見えたとしても、すべての事には原因があります。人間は未来について知りもしない、その事が突然、起きたかのように見えても、すべての人は制限される知識を持っているからです。それで偶然という言葉を使うのです。最も人間が、自由意志を持っているというのは、人間がすべての事を全部できるという意味ではないのです。神は、人々の心と意志を動かして行われるから、自由意志は、神の摂理と衝突される概念ではありません。

## 5. 神が創造された後

### 被造物自体が自ら継続されるという主張は、どうなのですか。

これは神の摂理を反対する主張です。神が創造なさった後に、被造物自体が継続されるというのは間違った主張です。神は、ただ建築家として御業を終えた方ではありません。すべてことを造り、その造られたことの原因としておられる方です。すべてのことを造られた後に、同じ力によってそれらを捕らえておられます。イエスさまは、わたしの父は今に至るまで働いておられます。ですからわたしも働いていると告げられました(ヨハネ5:17)。神さまが働いておられるという言葉は、神がすべての被造物を保全なさり、捕らえておられるという意味です。使徒パウロは、私たちが生き、動くのも神の中でと語りました(使徒17:28)。すべての万物が今日まで堅く立っているのは、神の摂理によるものです(詩119:91、詩104篇)。

## 6. 神はどのようにすべての被造物を捕らえ、治めますか。

神の摂理は、万物を捕らえ治めることにあります。神は天と、その地の要素などが継続されるようになさることで(Ⅱペテロ3:4)捕らえておられ、生きている被造物の寿命を定められ(詩36:6、104:27)、あらゆる生き物をこの世の終わりまで持続させることで(創7:3、8:21-22)捕らえておられます。神はすべての被造物をご自分の楽しみに従って導かれ、神ご自身の栄光のためにそれらを使用されます。神が一般的に支配なさる方法は、被造物たちを働かせ、それが善に使用されるように助け、それらが存在するようになさるのです。

## 7. 神は理性的被造物を、どのように治めますか。

理性的被造物は、天使と人間です。神は彼らを理性的被造物として理解力のあ  
るように造りました。従って神は、彼らを教え、彼らが教えられた通りに遂行す  
るようになさることで支配なさいます。神の教えの中には、命令も、約束も、警  
告も含まれます。

## 8. 神の摂理の方式と、それに対する乱用とは何ですか。

通常的方式と、非常な（あるいは、例外的）方式があります。通常的方式は、  
有用な手段によって、あることが起こるようになさる時、その過程を自然に任せ  
るのです（イザヤ 55:10）。非常な方式とは、手段なく、あるいは手段がほとんど  
ない中で起こるようになさいます。このことを、私たちは普通、奇跡と呼びます。  
私たちは、通常的方式を無視したまま、非常な摂理だけを待ち望んではだめで  
す。また、必要なことはせずに、今すぐ非常な摂理だけを求めてもなりません。  
それは、神を試みる事です。それは不信仰であり、凶々しい事です。

人間は物を浪費し、間違っ使用しながら、神に続けて供給してくださいとい  
うのも、摂理を乱用することです。神の召しに相応しく熱心にならないで、怠け  
る中で生きるのも神を試すことです。自分を危険の中に置いていながら、神さま  
に救ってくださいと言うのも不信仰です。自分の体の維持のためなら、どんな労  
苦でもしながら、霊魂の救いと関連して、自分の霊魂を顧みないのも、神を試み  
ることです。このようなことは、神の摂理に反する不信仰です。

## 9. 神の摂理を実行するのに、使用される手段は何ですか。

ここには、受動的手段と、能動的手段があります。受動的手段は、ただ、神によって動かされたり、指導を受けることです。能動的手段は、被造物が理性と知識を持って自ら行動し、動くことです。しかし神は、敬虔な理性的被造物が実行したことは受け入れるけど、悪者が行ったことは受け入れません。時々神は、悪者が、神の御心に逆らったことをも用いながら、ご自分の御心を成し遂げます。人々はキリストを死に追いやったけど、神はそれを使用なさって贖いの目的を成し遂げました（使徒2:23）。

この時、神は、単純に悪を許容なさるのではなく、ご自身の力とご自分の栄光のために、そのことを支配なさるのです。勿論、この時、人間は、神の摂理の側面で、自分たちの悪な行いを正当化することはできません。罪について神は公義に審判なさり、ご自分の民の罪についても懲らしめます。

## 10. 神の摂理に対する教理は、私たちにどのような有用性がありますか。

神の摂理は、ご自身が造られたすべてを持続させ、保たせ、支配なさることを意味します。ここには、神の力、知恵、善が現れています。従って、すべてものが神に栄光を帰すようになります（ロマ11:36）。神の摂理なしには、どんなことも起こらないです。その摂理に、私たちが神を敬い、罪を犯さないようにし、神の慈悲深い助けによって心配したり、思い煩いをしなくても良いようになさいます。私たちが繁栄の時、私たちは、このすべてが神から来ているのを認めるだけでなく、必ず神に感謝しなければならない。神を賛美し、神に栄光を帰さなければなりません。そのすべての祝福の原因を自分に回したり、とんでもない所に回さないように注意すべきです（ハバクク1:16）。また、苦難と逆境の中にいる時には、これが私たちの有益であることを考え、忍耐しなければなりません。